

大田区シルバー人材センター
「より良いセンターづくりのためのアンケート」

分析結果報告書

2023年3月3日

公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団

【目的・留意事項】

- 本報告書は、アンケートの主目的である「非就業会員の実態把握および就業促進策の探索」を念頭に限られた設問を用いて分析した
- 就業内容が大きく異なることから分析は、すべて男女別に行った
- 全設問の回答結果および男女合計の結果は、別添の単純集計結果表.xlsxを参照のこと
- 対象の基数は1,639人だが、設問ごとに無回答数が異なるため各図表の数は一致しない

【目次】

1. アンケート調査の回収状況.....	1
2. 就業状況(問7)	2
3. 就業に対する希望(問9).....	4
4. 就業意欲別(問7×問9)のサポートや希望する仕事.....	5
5. 非就業群(就業を望まない会員)への対応.....	13

【分析結果】

1. アンケート調査の回収状況

本アンケート調査は、2023年1月に在籍する全会員を対象に実施され、1,684人の回収が行われた（うち性別・年齢無回答45人のため有効回収数は1,639人）。

同時点の性年齢別の在籍会員数を基数に回収率を算出した結果(表1)、80歳以上会員でやや回収率が低かったが、比較的ばらつきは少なく、全体では54%となった。

表1 性別・年齢段階別の回収数

	A.在籍会員数(2023.1)				B.回収数			回収率(B/A)		
	男性	女性	合計	構成比	男性	女性	合計	男性	女性	合計
60歳未満	2	0	2	0.1%	0	0	0	0%	0%	0%
60～64歳	58	83	141	4.7%	31	45	76	53%	54%	54%
65～69歳	230	209	439	14.6%	140	108	248	61%	52%	56%
70～74歳	502	399	901	29.9%	303	210	513	60%	53%	57%
75～79歳	506	337	843	28.0%	292	199	491	58%	59%	58%
80歳以上	438	246	684	22.7%	213	98	311	49%	40%	45%
合計	1,736	1,274	3,010		979	660	1,639	56%	52%	54%

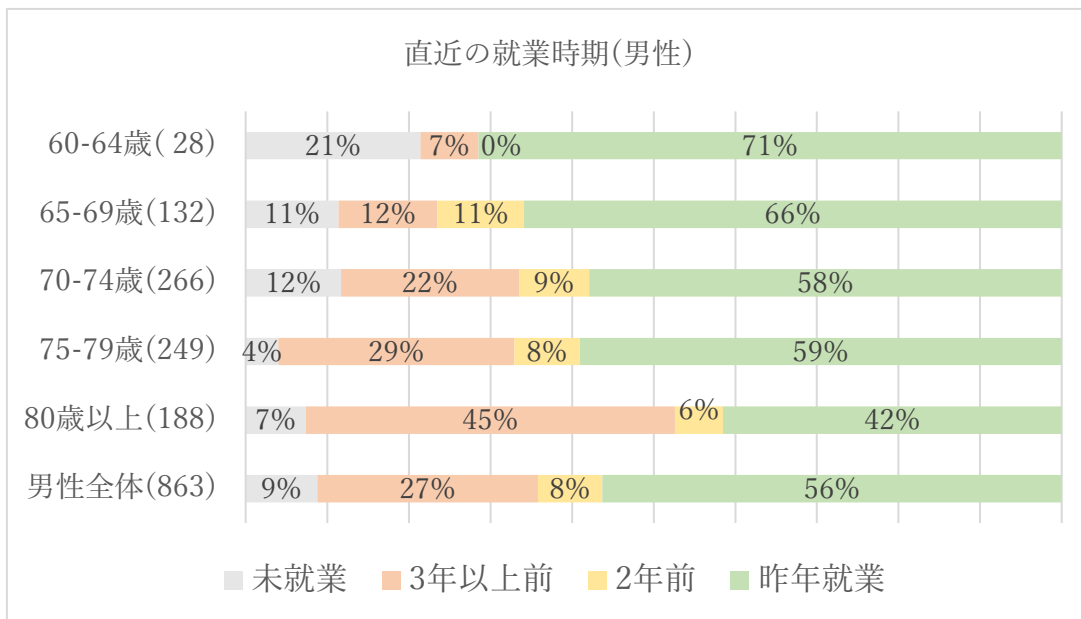
1. 就業状況(問 7)

(1) 直近の就業状況

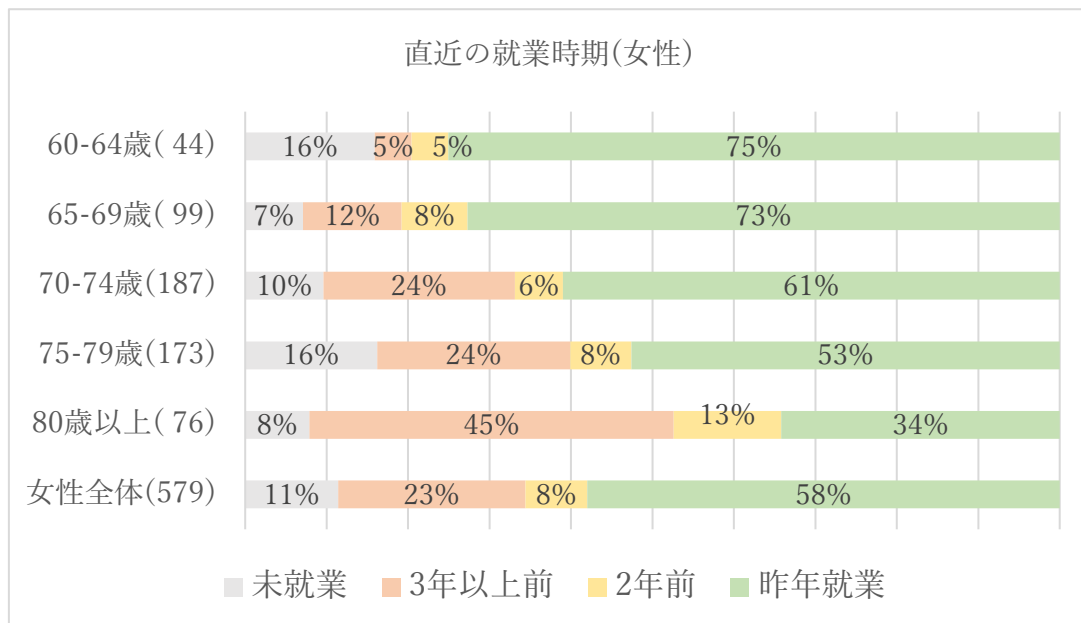
回答者のうち、昨年(2022 年 1~12 月)就業していたのは男性会員 56%、女性会員 58%であり、それぞれ 4 割程度の非就業者が存在した。なお、一度も就業したことがない未就業者は男女とも 1 割程度見られたが、その多くは入会から 1 年以下の会員であった。

年齢段階別では、男女ともに年齢が高いほど非就業者が多くなり、その割合が半数に達するのは、男性では 80 歳以上、女性では 75 歳以上であった(図表 2, 3)。

図表 2 年齢段階別の就業状況(男性会員 n=863)



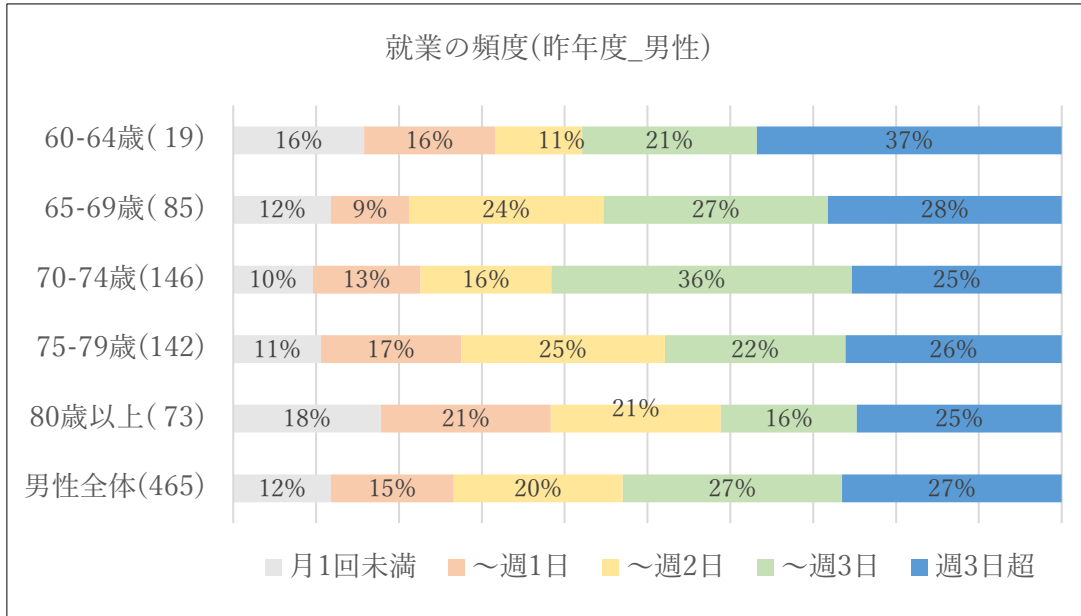
図表 3 年齢段階別の就業状況(女性会員 n=579)



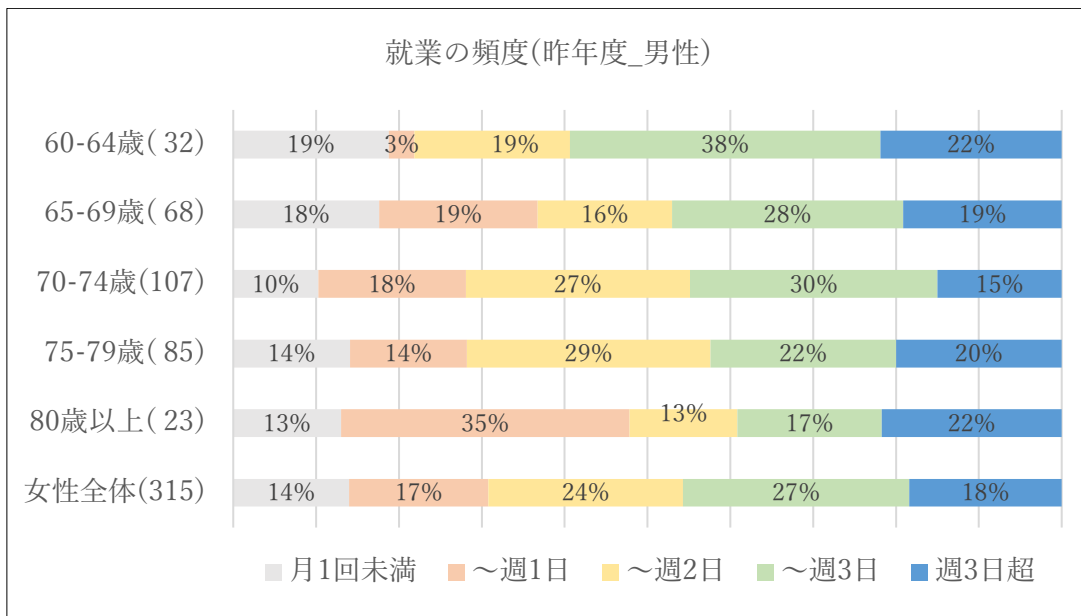
(2) 昨年就業者の就業頻度

昨年度の就業会員の就業日数を算出した結果、男女ともに 7 割が週 2 日以上の頻度で就業していた(図表 4, 5)。年齢段階別では、高齢ほどやや就業頻度が少ない傾向がみられるものの、有意な差は認められなかった(年間就業日数の平均比較分析でも同様)。

図表 4 就業者の年齢段階別の就業頻度(男性会員 n=465)



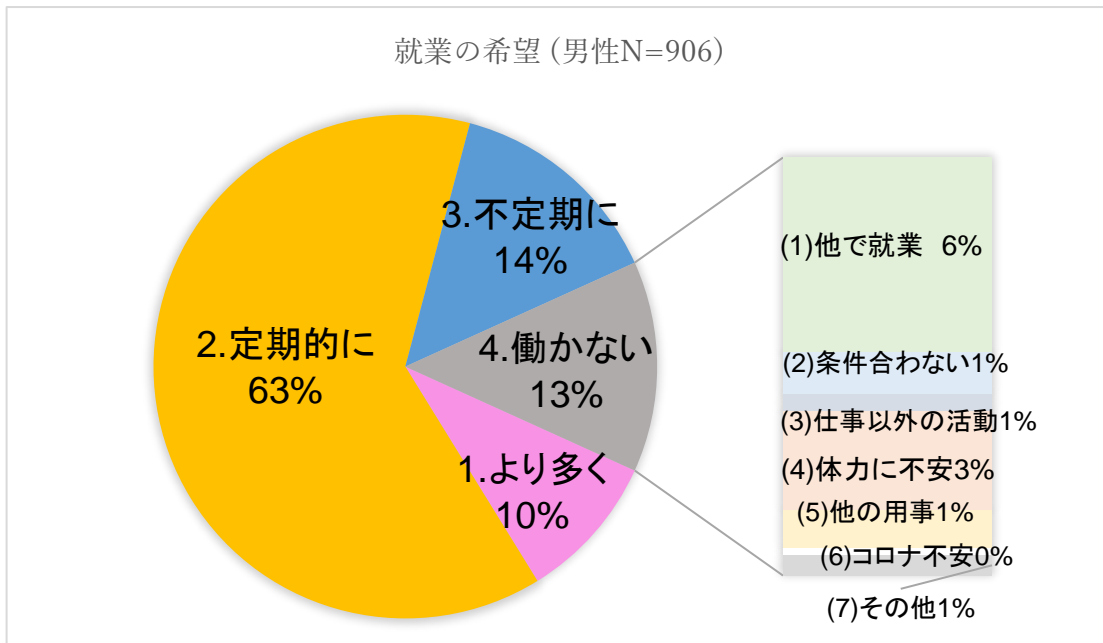
図表 5 就業者の年齢段階別の就業頻度(女性会員 n=315)



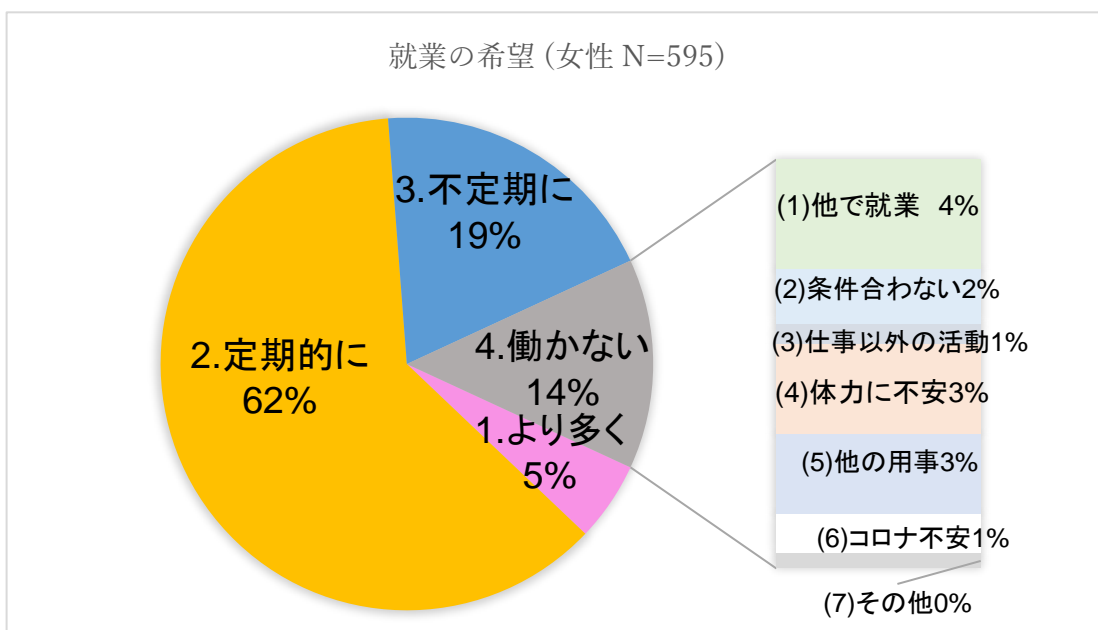
2. 就業に対する希望(問9)

今後のセンターでの働き方についての希望については、男女ともに「継続的な仕事で定期的に働きたい」が6割を占め、次いで「単発の仕事で不定期に働きたい」は男性14%、女性19%となった(図表6, 7)。「(種類問わず)できるだけ多く働きたい」は男性10%、女性5%と少なく、「今は働きたくない・働けない」と回答したのは男性13%、女性14%であった。

図表6 今後のセンターでの働き方についての希望(男性会員 n=906)



図表7 今後のセンターでの働き方についての希望(女性会員 n=595)

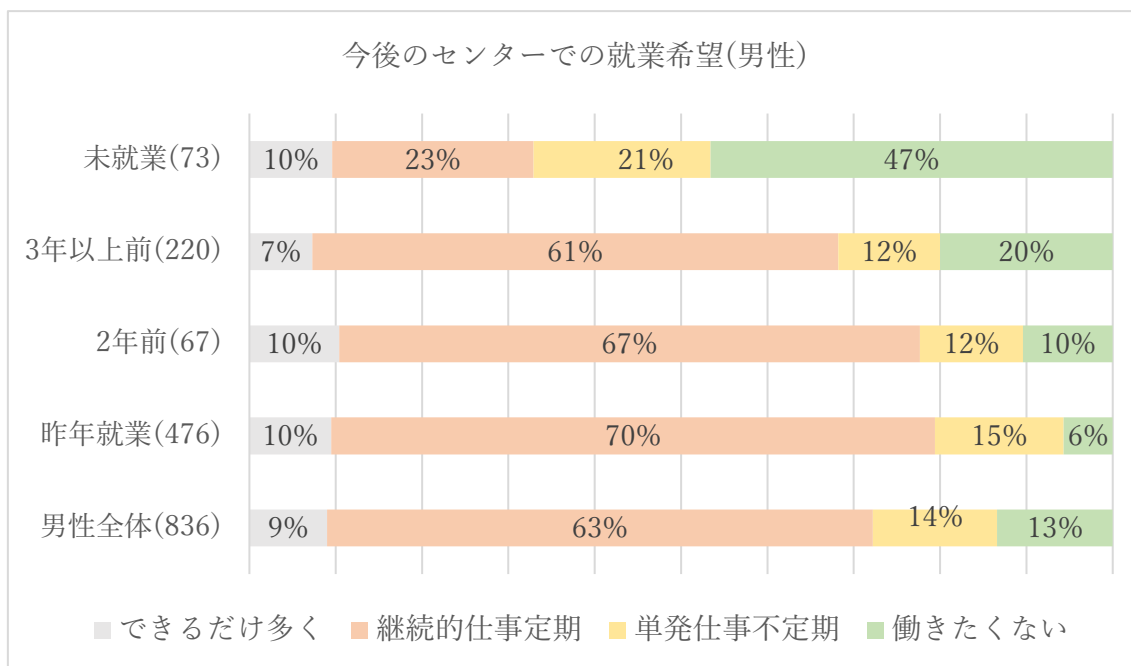


3. 就業意欲別(問7×問9)のサポートや希望する仕事

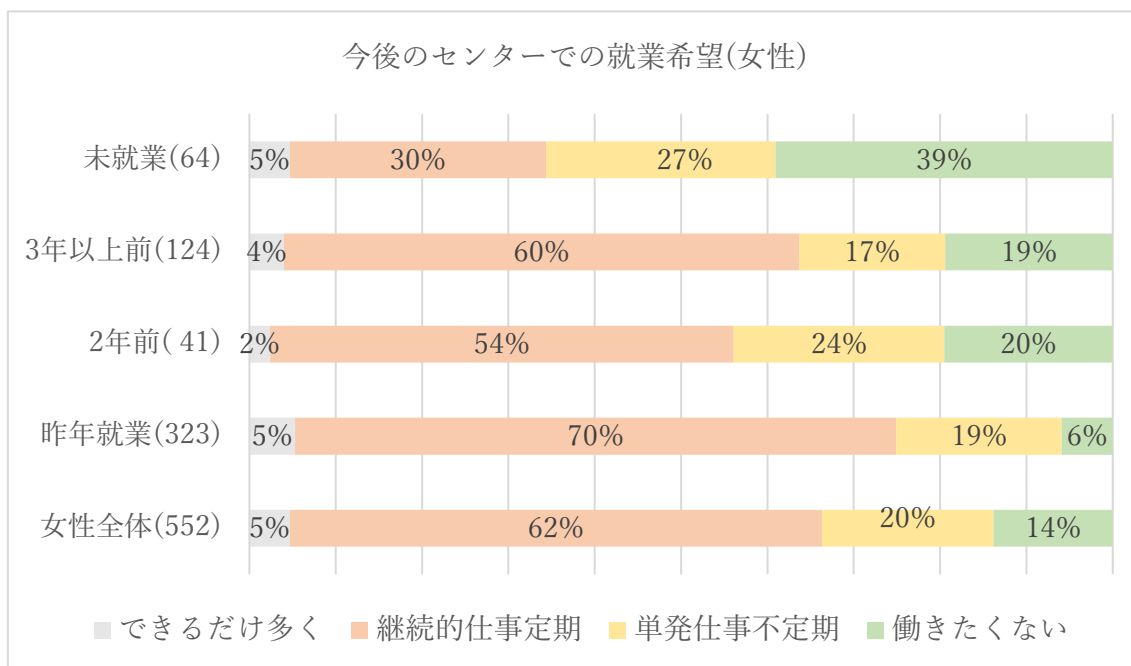
(1) 直近の就業(問7)と今後の働き方希望(問9)の関係

昨年度に非就業者のうち、過去の就業経験のある人(2年前・3年以上前)の8割以上が今後も就業を希望していた(図表8, 9)。一方、未だ就業経験のない会員では働きたくないと回答する人が4~5割占め、その多くはセンター以外で仕事をしている人であった。

図表8 直近の就業状況別の今後の就業希望(男性会員 n=836)



図表9 直近の就業状況別の今後の就業希望(女性会員 n=552)



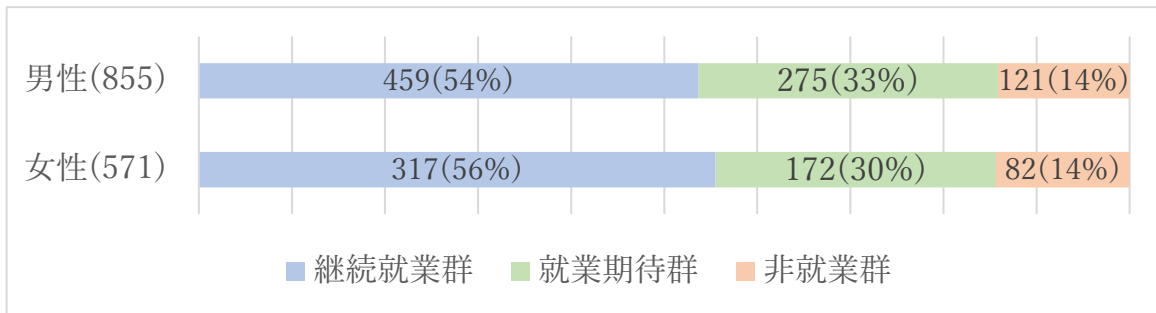
(2) 就業意欲によるグループ分類

直近の就業(問7)と今後の働き方希望(問9)の組み合わせから3つのタイプに類別した。

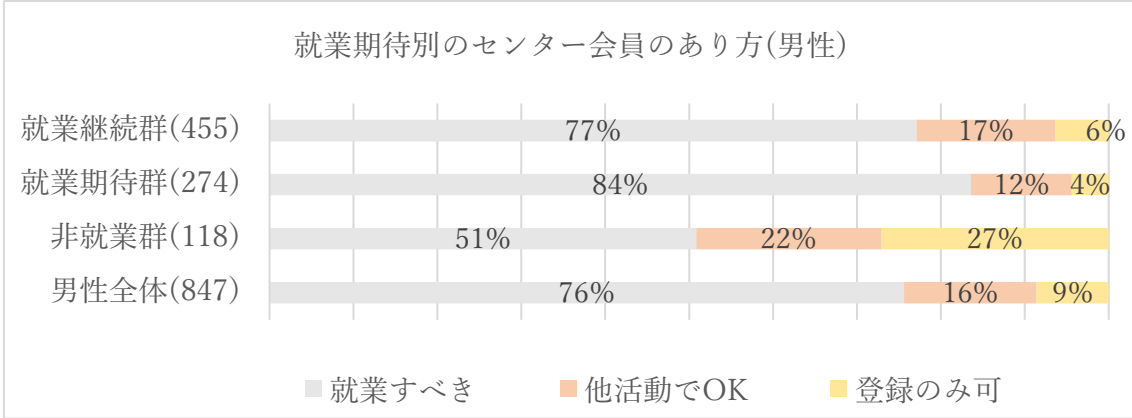
- I 継続就業群：昨年就業あり&今後の就業希望あり
- II 就業期待群：昨年就業なし&今後の就業希望あり
- III 非就業群：(就業実績問わず)今後の就業希望なし

「II 就業期待群」は男性で275人、女性で172人にのぼり(図表10)、また「センター会員は就業すべき(問2)」と考えている人も多いことから(図表11,12)、今後の就業が期待できる潜在的マンパワーとみることができるだろう。

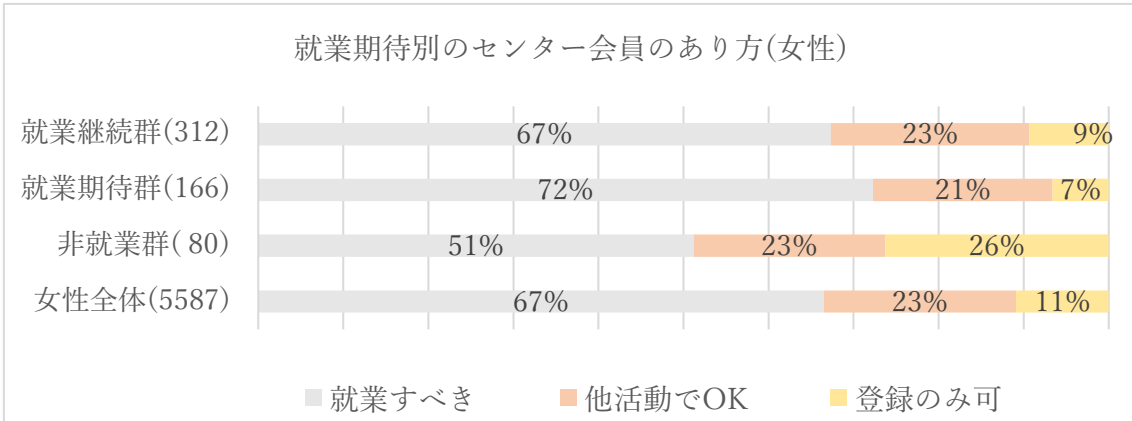
図表10 就業タイプの分布(n=1,411)



図表11 センター会員のあり方就業タイプの分布(男性会員 n=847)



図表12 センター会員のあり方就業タイプの分布(女性会員 n=847)

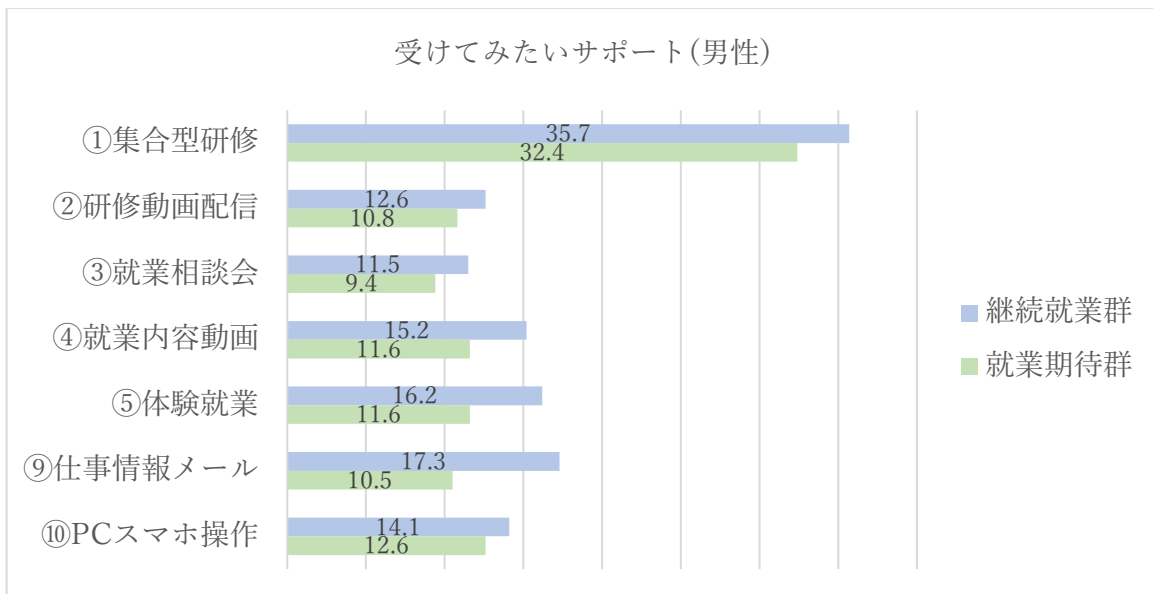


(3)就業意欲別の希望するサポート(問8) (→※非就業群は除外)

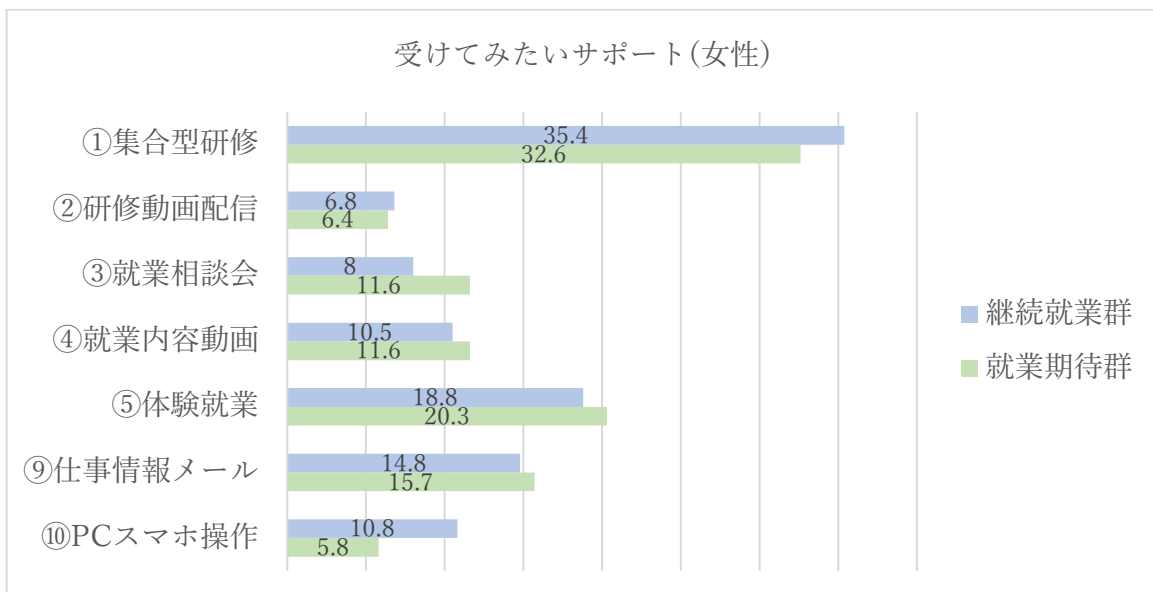
受けてみたいサポートについては、男女ともに「1. 就業に必要な知識・技能を習得するための集合型の研修」が最多で就業希望者の3割が選択した(図表13, 14)。次いで多いのは「5. 先輩会員から教わり試しに就業してみる『体験就業』」で、対面(リアル)での研修がより望まれる傾向がみられた。未実施の「9.メールでの仕事情報の案内」は一定の会員が希望した。

就業意欲別の比較では、「II 就業期待群」に特徴的な傾向は確認できないが、女性会員では就業相談会や体験就業が1 就業継続群よりやや多かった。

図表 13 就業意欲別のサポート希望(男性会員 n=739)



図表 14 就業意欲別のサポート希望(女性会員 n=497)

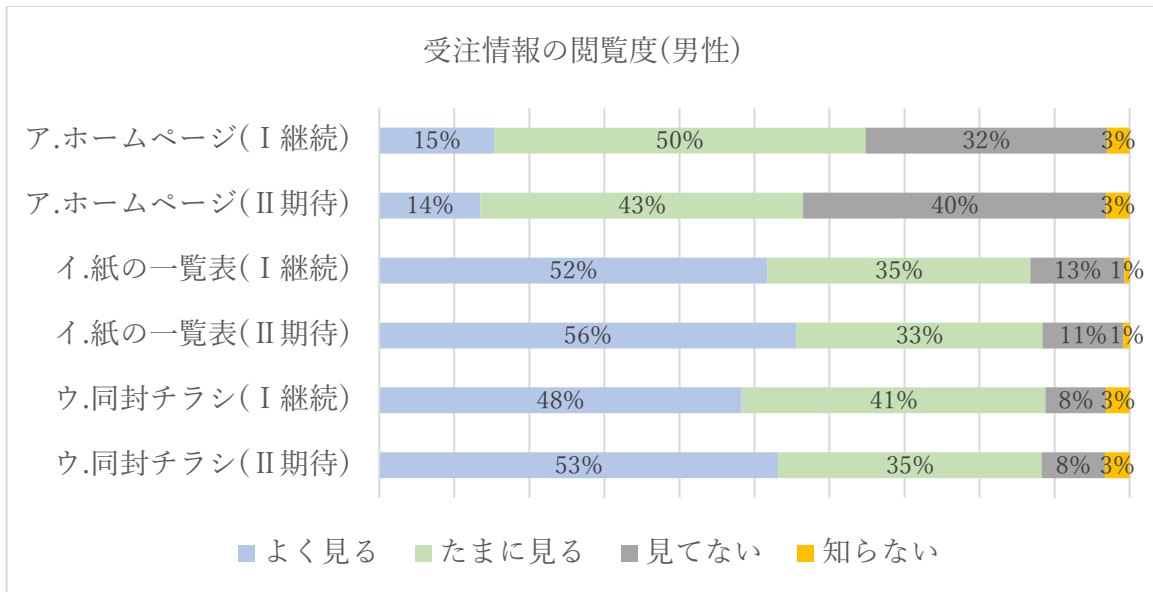


(4)仕事の情報(問 10) (→※非就業群は除外)

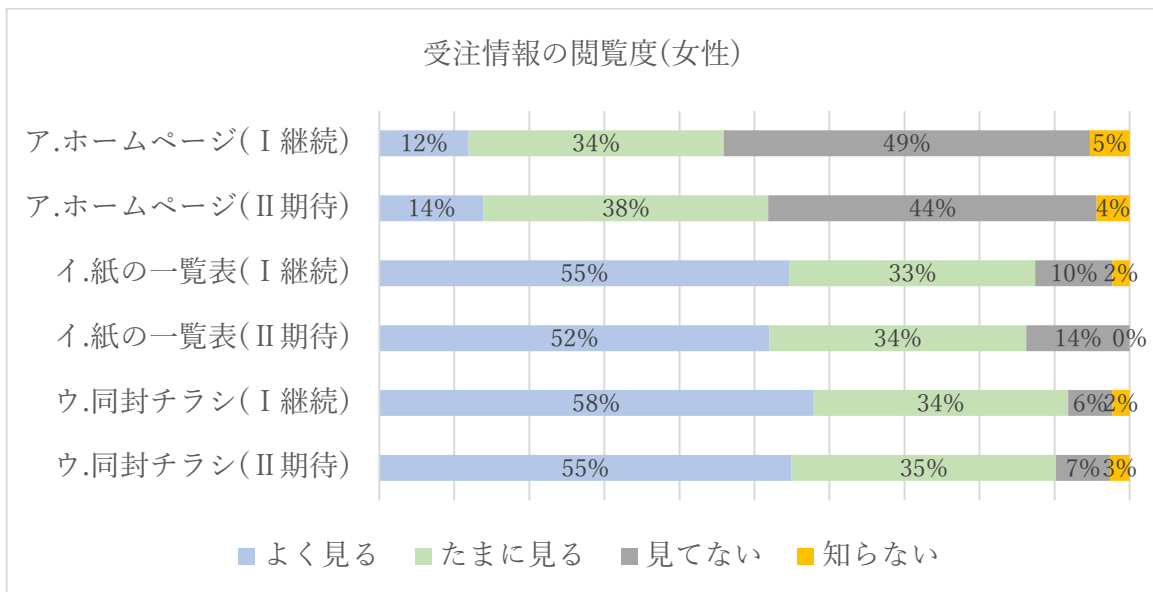
センターが会員に発信している受注情報一覧の閲覧状況を確認した結果、紙で提供している受注一覧表やチラシ(シルにゃんのこんなお仕事あります!)は、男女とも9割近くが見ていた(図表 15, 16)。ホームページでの情報は、3~5割が見ておらず女性の方が閲覧の割合が低かった。

就業意欲別の比較では、Ⅱ継続期待群はⅠ継続就業群とほぼ同じ程度で情報を閲覧していたことから、一定の就業意欲を持っていることが再確認できた。

図表 15 就業意欲別の受注情報への閲覧度(男性会員 n=681)



図表 16 就業意欲別の受注情報への閲覧度(女性会員 n=463)

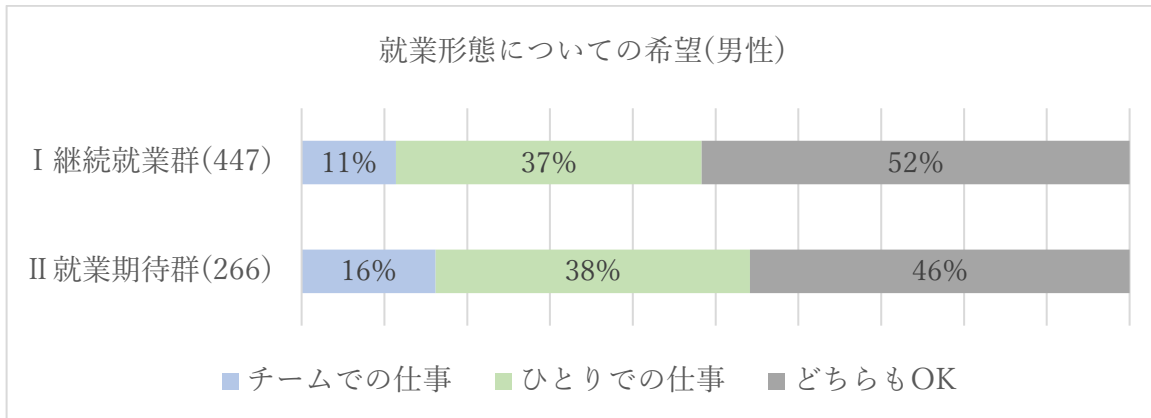


(5)希望する就業形態(問 11) (→※非就業群は除外)

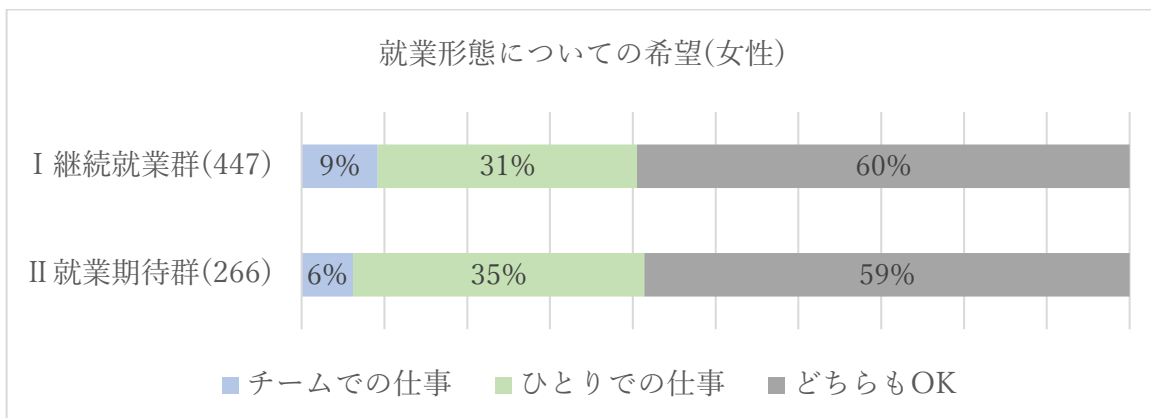
就業形態に対する希望を確認した結果、男性の 5 割、女性の 6 割は「どちらでもよい」と回答した。

就業意欲別の比較した結果、Ⅱ継続期待群は、男性では「チームでやる仕事」を選択した人がやや多く、女性では「ひとりでやる仕事」を選択した人がやや多かった(図表 17, 18)。

図表 17 就業意欲別の就業形態の希望(男性会員 n=713)



図表 18 就業意欲別の就業形態の希望(女性会員 n=478)



(6)希望する仕事(問 12) (→※非就業群は除外)

今後やりたい仕事を比較的受注の多い 40 種類のなかから選択を求めた。男性会員では、⑬施設管理を希望する会員が 24.6%と最も多く、⑳公園・緑道・駅前清掃、⑤PC での入力が続いた。女性会員は、⑳受付が 23.3%と最も多く、⑦アンケート回答、④⑩保育園等での保育補助が続いた(図表 19, 20)。

Ⅱ継続期待群がⅠ継続就業群を上回った仕事は、男性では⑯自転車整理、⑮マンション管理、⑳マンション清掃、㉑公共施設清掃であり、女性では④⑩保育園等での保育補助、⑳家事援助、㉒屋内軽作業、㉓内職などであった。

図表 19 就業意欲別の希望する仕事(男性会員 n=739)

仕事の内容	Ⅰ 継続就業群 (462)	Ⅱ 就業期待群 (277)	合計 (739)
⑬施設管理	22.1%	28.9%	24.6%
⑳公園・緑道・駅前清掃	13.6%	13.4%	13.5%
⑤PC での入力	14.7%	7.9%	12.2%
⑯自転車整理	7.4%	<u>15.2%</u>	10.3%
⑳屋内軽作業	10.4%	9.4%	10.0%
⑮マンション管理	8.7%	<u>11.2%</u>	9.6%
㉒マンション清掃	8.9%	<u>10.8%</u>	9.6%
㉑アンケート回答	9.5%	7.9%	8.9%
④一般事務	8.9%	7.6%	8.4%
㉓受付	9.1%	7.2%	8.4%
⑧植木剪定	8.0%	7.9%	8.0%
㉔雨水桝への薬剤投入	9.3%	5.8%	8.0%
㉕掲示板張替え	8.9%	6.5%	8.0%
㉖屋外軽作業	8.2%	7.6%	8.0%
㉗公共施設清掃	5.6%	<u>8.3%</u>	6.6%
㉘チラシ等のポスティング	7.1%	3.6%	5.8%
⑭倉庫管理	4.8%	6.5%	5.4%
㉙除草	4.8%	6.1%	5.3%
㉚組立・梱包・包装	5.2%	5.4%	5.3%
②教育指導	5.2%	4.3%	4.9%
⑨襖・障子・網戸の張替	4.8%	4.7%	4.7%
㉛高齢者等の福祉サービス	4.5%	4.7%	4.6%
①講座等の指導	4.1%	4.7%	4.3%
㉜調査(交通量等)	5.0%	2.9%	4.2%
⑰配達	3.5%	5.1%	4.1%
⑪金属等の加工	3.2%	3.6%	3.4%
㉝事務所・店舗清掃	2.6%	3.2%	2.8%
③経理事務	2.6%	2.5%	2.6%
⑱営業	3.0%	1.8%	2.6%
㉞調理補助	2.6%	2.2%	2.4%
㉟保育園等での保育補助	2.6%	2.2%	2.4%
⑱販売	1.9%	2.2%	2.0%
㉟内職	1.5%	2.2%	1.8%
⑥筆耕	1.3%	2.2%	1.6%
㊱ハウスクリーニング	1.1%	1.1%	1.1%

③⑦子育て支援	1.1%	0.7%	0.9%
③⑥家事援助	0.6%	0.4%	0.5%
⑩畳の張替え	0.2%	0.7%	0.4%
⑫和洋服の仕立て・直し	0.0%	0.0%	0.0%
③⑨出張着付け	0.0%	0.0%	0.0%

図表 20 就業意欲別の希望する仕事(女性会員 n=497)

仕事の内容	Ⅰ 継続就業群 (325)	Ⅱ 就業期待群 (172)	合計 (497)
③⑤受付	24.0%	22.1%	23.3%
⑦アンケート回答	21.8%	15.7%	19.7%
④⑩保育園等での保育補助	16.0%	<u>17.4%</u>	16.5%
③⑦子育て支援	15.4%	12.2%	14.3%
③⑧高齢者等の福祉サービス	13.5%	11.6%	12.9%
④一般事務	12.9%	12.2%	12.7%
③⑥家事援助	11.7%	<u>12.2%</u>	11.9%
③③調理補助	11.1%	11.0%	11.1%
③②屋内軽作業	9.2%	<u>11.0%</u>	9.9%
⑤PCでの入力	11.1%	7.0%	9.7%
③①組立・梱包・包装	8.0%	8.7%	8.2%
②⑨公共施設清掃	7.4%	4.1%	6.2%
②⑧事務所・店舗清掃	5.8%	7.0%	6.2%
③④内職	4.6%	<u>8.7%</u>	6.0%
②②マンション清掃	4.9%	<u>8.1%</u>	6.0%
②①公園・緑道・駅前清掃	5.8%	5.8%	5.8%
②④チラシ等のポスティング	4.0%	4.1%	4.0%
③③施設管理	4.3%	3.5%	4.0%
⑥筆耕	2.8%	6.4%	4.0%
⑩⑧販売	3.1%	5.2%	3.8%
③⑨出張着付け	2.2%	4.1%	2.8%
②⑩除草	2.5%	2.9%	2.6%
⑫和洋服の仕立て・直し	2.2%	2.9%	2.4%
③③経理事務	3.4%	0.6%	2.4%
①講座等の指導	1.2%	4.7%	2.4%
②⑥掲示板張替え	1.5%	2.9%	2.0%
②⑤雨水桝への薬剤投入	2.5%	1.2%	2.0%

⑳屋外軽作業	0.9%	2.9%	1.6%
㉑教育指導	1.2%	2.3%	1.6%
㉒調査（交通量等）	1.5%	1.2%	1.4%
㉓植木剪定	1.8%	0.0%	1.2%
㉔ハウスクリーニング	1.5%	0.0%	1.0%
㉕襖・障子・網戸の張替	0.9%	1.2%	1.0%
㉖営業	0.9%	0.6%	0.8%
㉗マンション管理	0.6%	0.6%	0.6%
㉘配達	0.0%	0.6%	0.2%
㉙自転車整理	0.3%	0.0%	0.2%
㉚金属等の加工	0.0%	0.6%	0.2%
㉛倉庫管理	0.0%	0.0%	0.0%
㉜畳の張替え	0.0%	0.0%	0.0%

5. 非就業群(就業を望まない会員)への対応

(1)非就業の理由による再分類

今後の働き方希望(問 9)で「4.今は働きたくない・働けない」と回答した会員(男性 121 人、女性 81 人)に注目して、非就業群をその理由によって 2 つに分割した。

非就業①：理由を「(1)センター以外の仕事をしている」「(2) 条件に合う仕事がないから」を選択した人
 非就業②：理由を「(3) 別の活動(ボランティア活動等) で関わりたい」、「(4) 健康や体力に不安がある」「(5) 他の用事(介護・趣味など) が忙しい」「(6) コロナ等の感染症が心配」「(8)その他」を選択した人

そのうえで、前項の継続就業群と就業期待群を統合して「1 就業希望群」に再分類して、3 群間でその特徴を比較した。

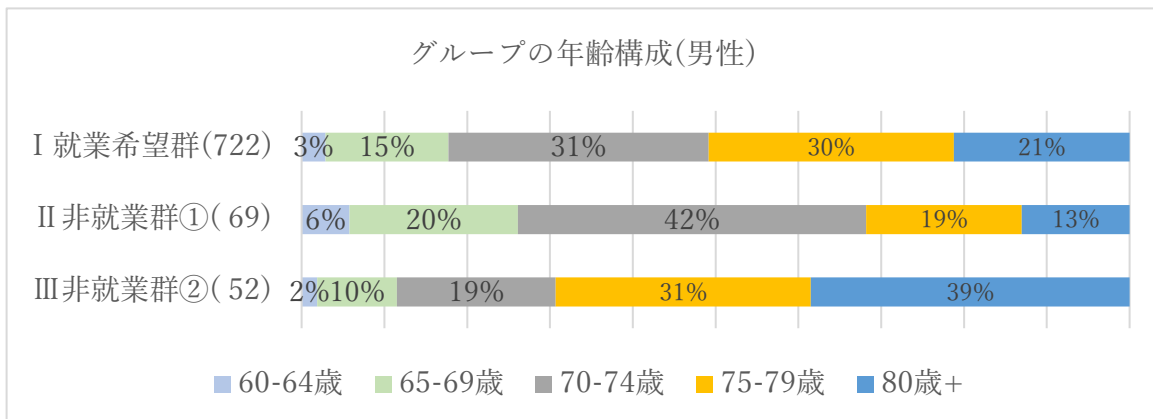
I 継続希望群：「継続就業群」と「就業期待群」
 II 非就業群①：他の仕事や条件が合わない非就業者
 III 非就業群②：健康不安や多忙等による非就業者

(2) 非就業者の姿

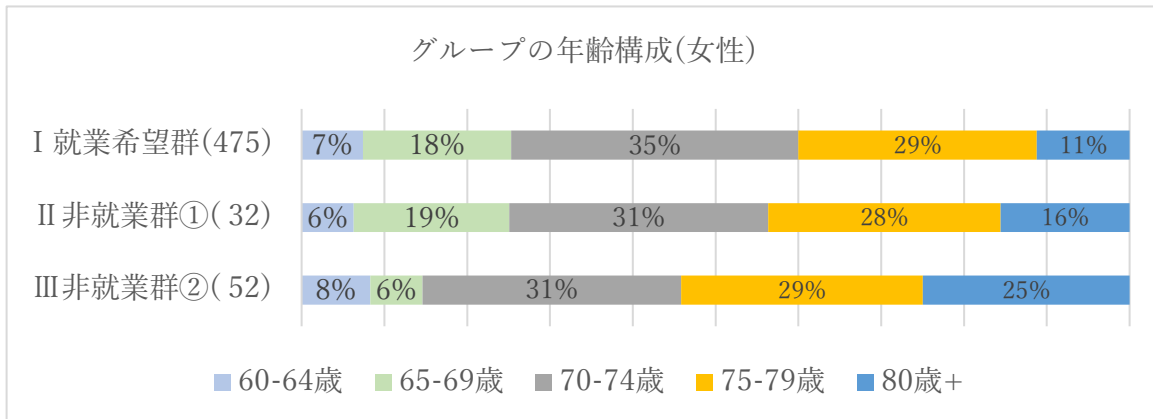
健康不安や多忙を理由に就業を希望しない会員(非就業群②)は、男女ともに年齢がより高く、75 歳以上の割合が男性の 7 割、女性では 6 割近くを占めていた(図表 21, 22)。この群は在籍期間も長く、5 年以上の会員が男性の 7 割、女性の 5 割を占めてい(図表 23, 24)た。

他の仕事や条件を理由に就業を希望しない会員(非就業群①)は、男性では他の群よりも明らかに若く、在籍期間も短い傾向が見られたが、女性においては就業希望群と大きく変わらなかった。

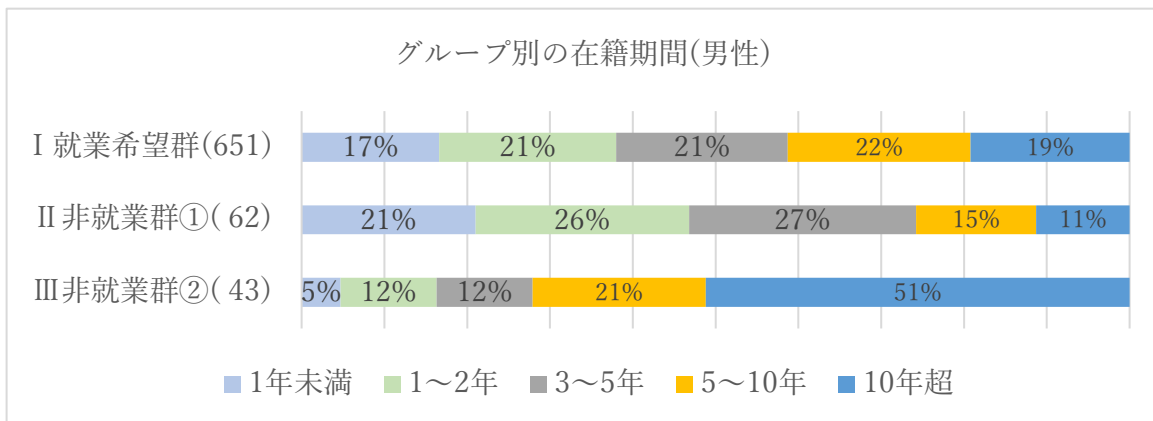
図表 21 非就業者グループの年齢構成(男性会員 n=843)



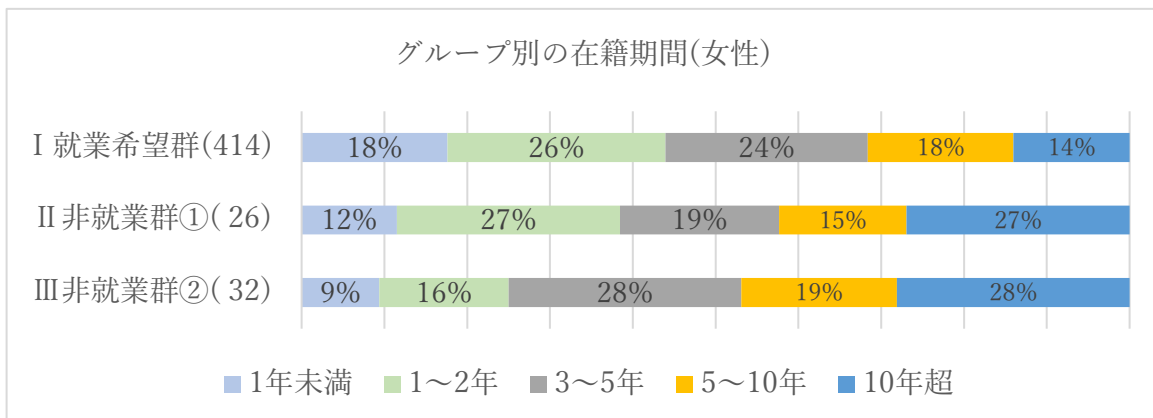
図表 22 非就業者グループの年齢構成(女性会員 n=555)



図表 23 非就業者グループの在籍期間(男性会員 n=756)



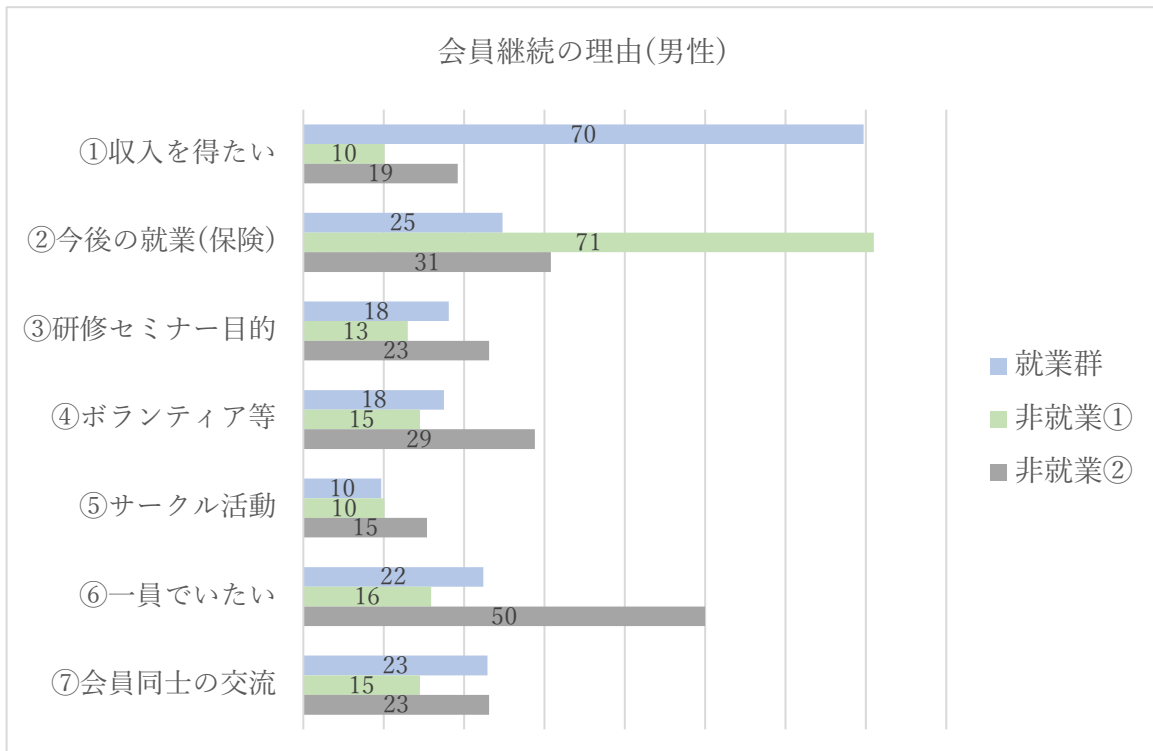
図表 24 非就業者グループの年齢構成(女性会員 n=472)



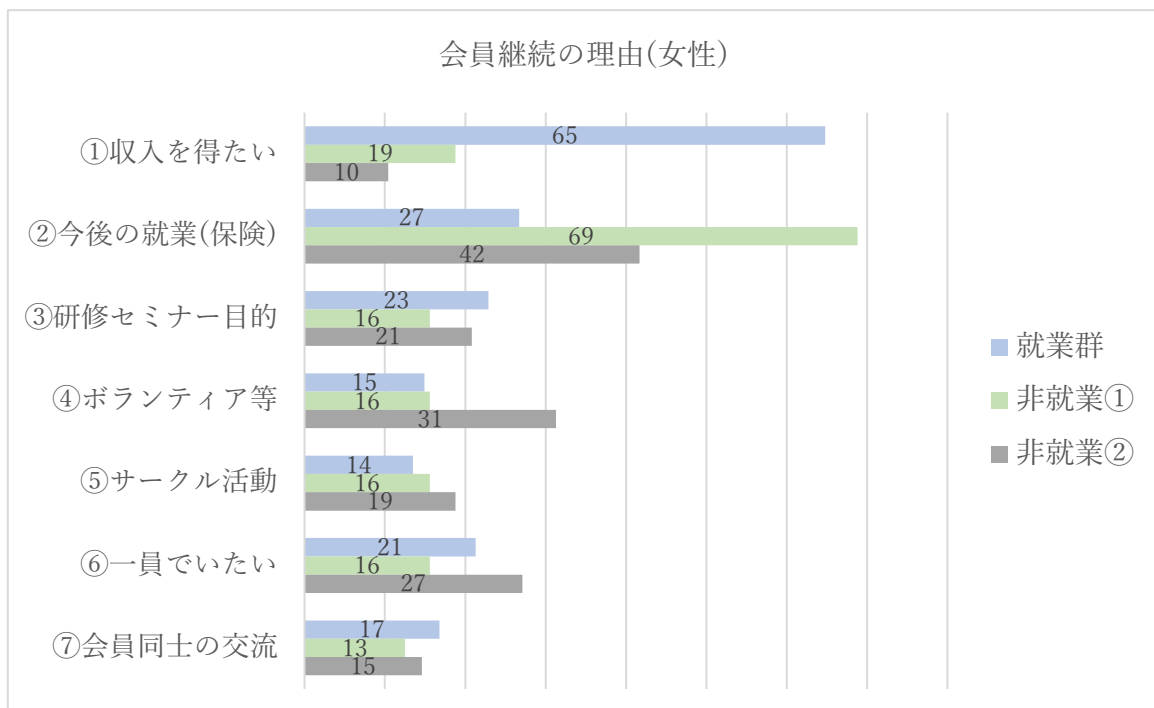
(3) 会員を継続している理由(問 1)

グループ別の会員継続の理由を比較した結果、非就業群①は男女ともに「2. 今後、就業をしたくなった時のため」を選択する人が7割と顕著に多かった(図表 25, 26)。就業への意欲そのものは高く、労働条件によっては、センターでの就業が期待できる層と考えられた。

図表 25 会員を継続している理由【複数回答】(男性会員 n=843)



図表 26 会員を継続している理由【複数回答】(女性会員 n=843)

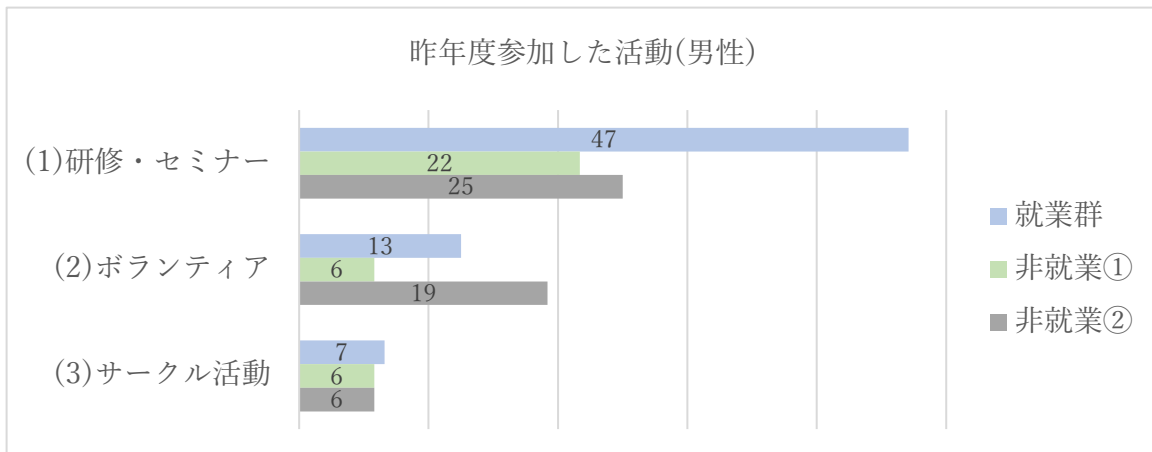


(4) 昨年の活動参加状況(問 3)と満足度(問 4)

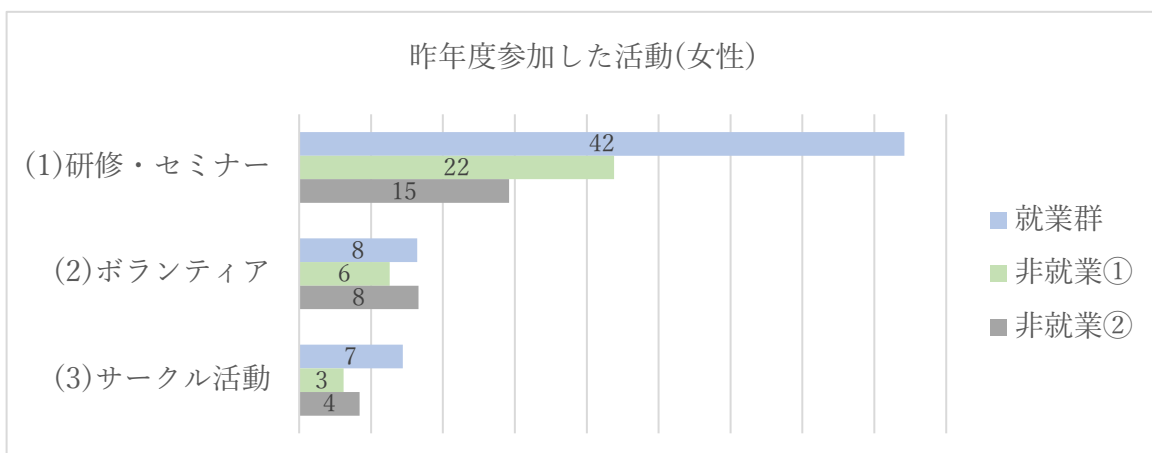
非就業①②ともに就業会員に比べ研修やセミナーへの参加は少ない。一方でボランティア活動への参加は男性の非就業②が就業会員よりも多いが女性には差がなかった。サークル活動への参加はいずれの群も低調で差はみられなかった(図表 27, 28)。

昨年の活動状況に対する満足度(問 4)は、男女ともに就業群が高く 8 割程度が満足と回答した(図表 29, 30)。次いで、ボランティア活動への参加が多い男性の非就業②も 7 割程度と高かったが、女性の非就業②は最も満足度が低かった。非就業②は、会員継続の理由(問 1)でボランティア活動を選択する人が多いにも関わらず、女性会員では参加が抑えられていた。コロナ下での活動制限が満足度を低下させた可能性があり、退会防止に向けて活動の機会を回復させることが求められている。

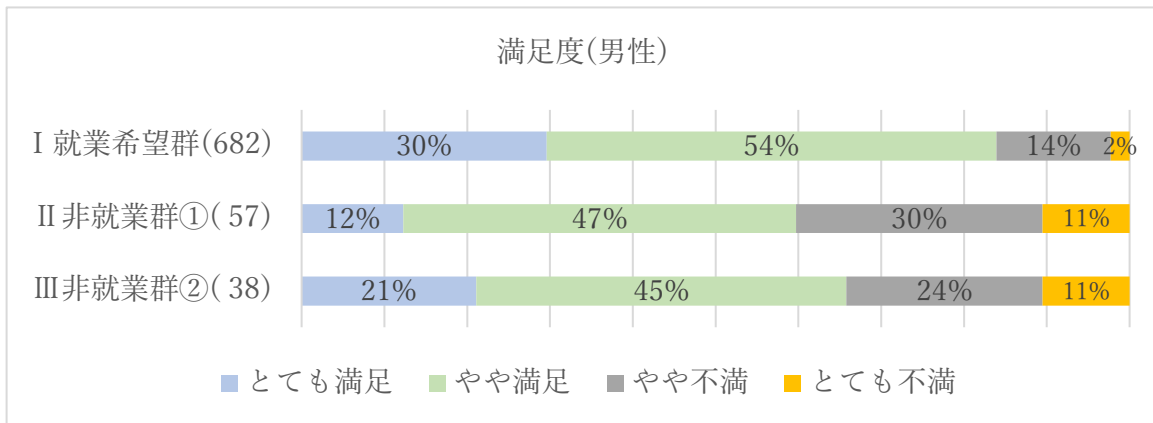
図表 27 昨年 1 年間に参加した活動(男性会員 n=843)



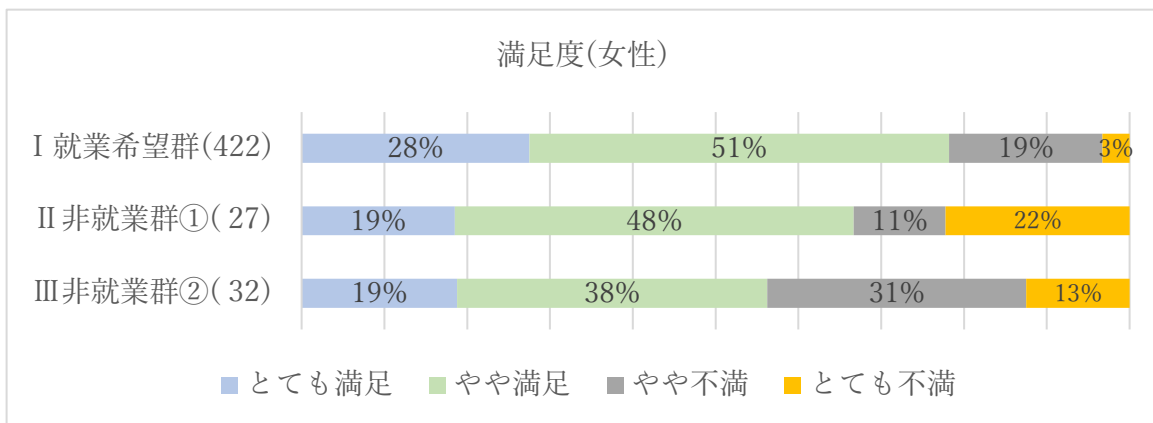
図表 28 昨年 1 年間に参加した活動(女性会員 n=555)



図表 29 活動状況に対する満足度(男性会員 n=845)



図表 30 活動状況に対する満足度(女性会員 n=481)



以上

付録

【データクリーニングの内容】

→ 1 つを選択する設問に複数で回答するなどの無効データを有効化する処理

- 入会年号:無記入は推定した(年が~5 以下→令和、6 以上→平成)。元年は 1 年に置換え
- Q2: 複数選択者はより上位の選択肢を採用した
- Q2: 無記入は 0 回に置換え
- Q5:3 と 4 を選択した回答(2 件)は、4 とした
- Q6: 無記入は置換え不可(そのまま欠損値)
- Q7: 複数選択者(2 件)はより大きい値の選択肢を採用した。
- Q7(1):8~10 回などの範囲の回答は最大値を採用した。
- Q7(1) :外れ値(月 60 日や年 280 日等)は月: 20 日、年: 240 日の最大値に置換した。
- Q7(2): 複数選択者は最初の番号を採用。文字入力者は近い仕事に置換。分類不能は 99.
- Q9: 複数選択者はより上位の選択肢を採用した(23 件)。無回答のうち、SQ に回答したものはすべて 4.を入力した。
- Q9SQ: 複数選択者はより上位の選択肢を採用した(18 件)
- Q10 ア: 複数選択者はより上位の選択肢を採用した(3 件)
- Q11: 複数選択者は 3.を含む人は 3. (23 件)。それ以外は 1.とした(2 件)。
- Q12: 複数選択者は最初の番号を採用。文字入力者は近い仕事に置き換え。